

日本女子大学
〒112-8681 東京都文京区目白台2-8-1
入試課 TEL 03-5981-3786
https://www.jwu.ac.jp/univ/

学部入試



大学HP



PICK UP 2029年 9学部15学科4専攻の女子総合大学へ

(1) 成瀬仁蔵

1858（安政5）年、山口市で武士の家に生まれる。教育者として女子の中等教育機関の校長として尽くすが、1890（明治2）年の渡米を転機に、日本で女子のための高等教育機関をつくることを決意。1896（明治29）年に「女子教育」を上梓、女子大学設立運動を起こして、1901（明治34）年に日本女子大学校を創設。女子高等教育への道を開いた。

(2) JWUキャリアライフセンター

2026年4月に学生が在学中から、そして卒業後も継続的に大学に戻って支援を受けられる機関として開設。在学生へのキャリア教育とキャリア支援の強化、卒業生の支援の拡充など、女性が生涯を通して社会で活躍するためのキャリア形成を、社会（企業・諸官庁・教育機関）とも連携しながら包括的に教育・支援する。



2028年度 設置構想中の2学部

ファッションデザイン学部（仮称）
2028年4月開設
（設置構想中）

ファッションはアートか、それとも、サイエンスか。

【文理融合】【地域・企業連携】【国際化】が特徴です

2028年4月開設
（設置構想中）

人間科学部
（仮称）

私たちはまだ、人間を知らない。

【人間とは何か】という根源的な問いに挑みます

2027年度の学部学科構成

- 文学部
 - 日本語日本文学科／英文学科／歴史文化学科
- 経済学部
 - 経済学科 *2027年度開設
- 人間社会学部
 - 現代社会学科／社会福祉学科／教育学科／心理学科
- 国際文化学部
 - 国際文化学科
- 理学部
 - 数物情報科学科／化学生命科学科
- 建築デザイン学部
 - 建築デザイン学科
- 家政学部
 - 児童学科／被服学科
- 食科学部
 - 食科学科／栄養学科

少人数による授業と、女子の教育に特化した空間は、性別役割にとらわれない自由な議論や行動が保証され、そこで過ごす時間は、その後の人生の大きな宝物になるはず。日本女子大学は、新しい明日を共に創る学生を、さまざまな形で応援しています。

就 03 女性の一生を見据えたきめ細かなキャリアサポート

職支援は、女性としてキャリアを積みながらその後の仕事や人生をいかに充実したものにしていくか、という質の高い就職の実現を重視しています。さまざまなキャリア支援プログラムを1年次から展開、長年の経験と実績により「女性の就職に関する支援体制」が確立しており、一人ひとりの「自己発見」と「自己実現」をきめ細かくサポートしています。

また、2026年4月に「JWUキャリアライフセンター」を開設。学生が在学中からそして卒業してからも、継続的に大学に戻って支援を受けられるようになります。在学生へのキャリア教育・キャリア支援を強化し、女性が生涯を通して社会で活躍するためのキャリア形成を支援していきます。ここ近年の就職率は約99%以上と高く、著名企業への実就職率は女子大学ではトップクラスを維持しています。

2029年、9学部15学科4専攻の女子総合大学へ。 2027年の経済学部につき、2028年に2つの新学部、 2029年に新学部の設置を構想中*！



しのはらさとこ
篠原聡子学長

1983年日本女子大学大学院家政学研究科住居学専攻修了。1986年空間研究所設立。1997年から同大学で教鞭を執り、2010年から教授、2020年に同大学学長に就任。

SUMMARY

日本女子大学は、日本初の組織的な女子高等教育機関として創立し、2021年に120周年を迎えました。2027年度の経済学部開設に続き、2028年度にファッションデザイン学部（仮称）と人間科学部（仮称）、2029年度に理工学部（仮称）を設置構想中*です。これらが実現すると文理融合の教育環境を持つ9学部15学科4専攻を擁する女子総合大学となります。

創立者である成瀬仁蔵⁽¹⁾の教育理念を集約した三綱領「信念徹底」「自発創生」「共同奉仕」は明治から令和の現在にまで受け継がれ、各界にリーダーを輩出してきました。成瀬の教育方針である「自学自動」、すなわち自ら学び、自ら行動する学修姿勢を育む環境で、新しい明日を共に創る人材を育てています。

01 少人数教育と総合力で文理融合の多様な教育を推進

本女子大学は創立120周年を迎えた2021年を機に、家政学部、文学部、人間社会学部、理学部の全学部（当時）を創立の地目白キャンパスに統合、学部学科の再編などを重ね、文理融合の多様な教育を推進しています。【下表参照】

2027年度の経済学部開設に続き、2028年度にファッションデザイン学部（仮称）と人間科学部（仮称）、2029年度に理工学部（仮称）の設置を構想中*です。これらが実現すると、2029年には9学部15学科4専攻を擁する女子の総合大学となります。

学際的に提供するカリキュラムは約3000科目に上り、学部を横断的に学べる自由選択科目も充実しています。他学部や他学科の科目を履修することで幅広い教養を身につけます。また、幅広い思考力、表現力、実践力を身につけるために、「キャリア」「社会連携」「A・データサイエンス・ICT」という3つの基盤的教育認定プログラムも設定しています。

また、少人数教育が特長であり、入学時から教員によるアドバイザー制度を取り入れて学生を支援しています。各学部でも少人数の演習（ゼミ）を重視した質の高い授業が特色で、卒業研究（卒業論文、卒業制作）は全学科必修です。専門科目に加えて、「教養を深める科目」で広い視野も養っています。「その代表的な科目が、成瀬が創立以来続けた講義「実践倫理」が原点の「教養特別講義」です。「自ら人生を切り開くとともに社会に貢献できる人材」の養成を目指し1966年に始まったもので、学園の理念や精神を学び、各界で活躍する講師の講演で思考を深める学びは、今日まで続いています。

02 グローバルに学ぶ機会、質の高い教育と学生支援

世界の文化にふれグローバルに学ぶ「大学公認海外短期研修」には、春や夏の長期休暇を生かして、語学や専門領域を学ぶ研修、異文化体験を目的とする研修などがあります。

世界の名門大学とは交流協定を締結し、本学学生の派遣と協定大学学生の受け入れを行っています。米国の名門女子大学、ウェルズリー・カレッジもその一つです。留学中に取得した単位は30単位まで卒業単位に認定され、4年間で卒業することも可能であり、独自の奨学金制度を設けて経済的な支援も行っています。

一方、教員の研究力にも定評があります。文部科学省「令和8年度科学研究費助成事業の配分」において、研究者が所属する研究機関別新規採択率で全国11位、私立大学では2位になり、女性研究者の採択比率では全国9位になりました。

2022～2029年度の学部学科再編

2022年	理学部の学科名称を変更
2023年	国際文化学部を開設
2024年	建築デザイン学部を開設
2025年	食科学部を開設
2026年	文学部2学科の名称を変更
2027年	経済学部を開設
2028年	ファッションデザイン学部（仮称）と人間科学部（仮称）を設置構想中
2029年	理工学部（仮称）を設置構想中

さらに、学習院大学・立教大学・早稲田大学との単位互換制度「T-Connect」や、同志社女子大学との学生交流協定などダイナミックな学びも提供しています。